

第15回見学会

平成27年11月17日

佐倉市 国立歴史民俗博物館 佐倉城址公園 ぐらしの植物苑

当日は天候に恵まれ、JR佐倉、京成佐倉、自家用車の三ルートで国立歴史民俗博物館(以下歴博)前に集合しました。幹事の挨拶、写真撮影の後入館。まずは昼食時の集合場所へ行き午後一時十分には集合するように指示があり、それぞれ分かれて見学に入りました。

歴博は延べ床面積一万二千坪近くある大きな博物館で常設展示室が第一「原始・古代」から「中世」「近世」「民俗」「近代」「現代」の六展示室で構成されており、さらに当日は「大久保利通とその時代」の特別企画展示があり実に見どころ豊富でした。第三展示室には近江商人の展示がありましたが予定の一時半ではゆっくり見ていられない状態でした。しかし皆さん腹時計が正確なのか時間通りに昼食場所に集合しました。興味のある方はおそらく後日ゆっくり一人で来られるでしょう。

昼食が終わって歴博に付随する「ぐらしの植物苑」へ見学に行きました。この植物苑はパンフレットによりますと「食べる」、「治す」、「織る・漉く」、「染める」、「道具を作る」、「塗る・燃やす」と言う六つのテーマに沿ってさまざまな植物が植栽されている興味のある植物苑です。こちらも当日は「伝統の古典菊」展が開催されていて多くの方が菊に吸い寄せられていました。

次に佐倉城址公園の散策に移りました。佐倉城は古くからあったそうですが、江戸初期に徳川家康の命で土井利勝が築城、石材が入手しにくかったので土や急崖を利用した城です。江戸末期最後の藩主は堀田正倫(国の重要文化財「旧堀田邸」を建造)でした。その後佐倉城は佐倉連隊の軍営となり連隊に不必要な建築物は取り壊されてしまいました。しかし現存する空堀や土塁を見ると昔のお城が想像できそうです。博物館から植物苑への道程のイチョウ並木が色づいて綺麗でしたが、春の桜はもっと素晴らしいそうです。歴博へ戻って午後三時に解散となりましたが、そのあと有志のみで堀田邸見学に出かけました。

最後に今回の見学会は会員の脇坂亨氏が計画の段階から当日の会員の迎え、弁当の手配、ガイド、堀田邸見学まで大変お世話して下さい感謝お礼申し上げます。皆様にご報告しますとともに、新たに良い見学先があればお教えください。